

## 県内の外国人登録者数が5万人を超えました

### 外国人登録者数調査（平成19年12月31日現在）の結果

三重県では、法務省の「在留外国人統計」調査に合わせて、年一回、市町の協力を得て外国人登録者数の調査を実施しています。調査結果の概要は以下のとおりです。詳細は「資料編」をご参照ください。

#### 1. 調査結果概要

- ・ 平成19年末現在の三重県内の外国人登録者数は、51,638人（前年比2,334人、4.7%増）でした。
- ・ 外国人登録者数は最近5年間で14,650人増加し、10年間で1.92倍、平成元年の4.95倍となっています。
- ・ 県内総人口に占める外国人の比率は、過去最高の2.70%となりました。（平成18年末現在2.65%：全国第3位「法務省 在留外国人統計」）
- ・ 国籍別の登録者数では、最も多いのがブラジル（21,338人、対前年比2.6%増加）で、次いで中国（9,019人、対前年比14.3%増加）でした。全体としては、上位5カ国で登録者数の87.4%を占めています。また、登録者の出身国籍の数は98カ国（前年比1カ国減）でした。
- ・ 市町別に見ると、外国人登録者数が最も多いのは鈴鹿市（10,074人、人口比4.95%）で、次いで四日市市（9,685人、同3.09%）、津市（9,114人、同3.11%）でした。外国人比率は、木曽岬町（5.25%）が最も高く、次いで鈴鹿市（4.95%）、亀山市（4.83%）でした。

#### 2. 国籍別内訳表

順位	国籍	登録者数	構成比	増減数	増減率
1	ブラジル	21,338人	41.3%	537人	2.6%
2	中国	9,019人	17.5%	1,128人	14.3%
3	韓国又は朝鮮	6,205人	12.0%	-158人	-2.5%
4	フィリピン	4,764人	9.2%	350人	7.9%
5	ペルー	3,787人	7.3%	194人	5.4%
6	ボリビア	1,265人	2.4%	77人	6.5%
その他		5,260人	10.3%	206人	4.1%
三重県計		51,638人	100.0%	2,334人	4.7%

朝鮮とは、朝鮮半島出身者をいう。中国には、台湾出身者を含む。

## 資料編：三重県内の外国人の状況について

平成 19 年 12 月末現在の三重県の外国人登録者数は、51,638 人（前年比 4.7%増）で過去最高を更新し、県内総人口に占める外国人の比率は、2.70%になりました（前年 2.65%：全国第 3 位）。外国人登録者数は、最近の 5 年間で 14,650 人増加し、10 年前（平成 9 年：26,856 人）の 1.92 倍、出入国管理及び難民認定法（以下「入管法」という。）が改正される前の 18 年前（平成元年：10,441 人）の 4.95 倍となっています。一方、県内の日本人人口は平成 16 年以来減少しており（平成 16 年：1,863,066 人 平成 19 年：1,859,899 人）、外国人の増加が無ければ三重県の人口は減少していることとなります。

### 1. 国籍別内訳

本県の外国人登録者数を国籍別にみると、ブラジルが 21,338 人で全体の 41.3%を占め、以下中国、韓国又は朝鮮、フィリピン、ペルーと続いており、上位 5 カ国で 87.4%を占めます。また、登録者の国籍の数は平成 18 年末に比べ 1 カ国減の 98 カ国でした。

ブラジルは、平成 2 年の入管法の改正以来毎年増加を続け、平成 19 年末には対前年比 2.6%増の 21,338 人となっています。

中国は、平成 2 年から増え続け平成 17 年末には韓国又は朝鮮を抜いて第 2 位になりました。平成 19 年末には前年比 14.3%増の 9,019 人と、前年（平成 17 年比 20.3%増）に引き続き大幅に増加しています。

韓国又は朝鮮は、平成 2 年の 8,332 人を境に減少を続け、平成 19 年末には前年比 2.5%減の 6,205 人となりました。

フィリピンは、平成 8 年以降 12 年間増加を続けており、平成 19 年末は前年比 7.9%の増で 4,764 人となっており、増加率は前年（3.9%増）に比べ拡大しました。

その他インドネシアは、前年ベトナムを抜いて第 8 位から第 7 位となりましたが、平成 19 年末には前年比 4.4%減の 905 人となり、第 9 位となりました。

順位	国籍	登録者数	構成比	増減数	増減率
1	ブラジル	21,338人	41.3%	537人	2.6%
2	中国	9,019人	17.5%	1,128人	14.3%
3	韓国又は朝鮮	6,205人	12.0%	-158人	-2.5%
4	フィリピン	4,764人	9.2%	350人	7.9%
5	ペルー	3,787人	7.3%	194人	5.4%
6	ポリビア	1,265人	2.4%	77人	6.5%
7	ベトナム	978人	1.9%	57人	6.2%
8	タイ	968人	1.9%	71人	7.9%
9	インドネシア	905人	1.8%	-42人	-4.4%
10	米国	350人	0.7%	5人	1.4%
	その他	2,059人	4.0%	115人	5.9%
	三重県計	51,638人	100.0%	2,334人	4.7%

朝鮮とは、朝鮮半島出身者をいう。中国には、台湾出身者を含む。

国籍別登録者数上位5カ国の登録者数が多い市町は次のとおりです。( )内の数値は、三重県内の同国籍の登録者数全体に占める割合です。

国 籍	第1位	第2位	第3位
ブラジル 21,338人	鈴鹿市 5,118人 (24.0%)	四日市市 4,034人 (18.9%)	津市 3,859人 (18.1%)
中国 9,019人	津市 1,713人 (19.0%)	四日市市 1,330人 (14.7%)	伊賀市 987人 (11.0%)
韓国又は朝鮮 6,205人	四日市市 2,154人 (34.7%)	桑名市 980人 (15.8%)	鈴鹿市 667人 (10.7%)
フィリピン 4,764人	松阪市 1,211人 (25.4%)	津市 1,000人 (21.0%)	四日市市 646人 (13.6%)
ペルー 3,787人	鈴鹿市 1,654人 (43.7%)	四日市市 552人 (14.6%)	伊賀市 422人 (11.1%)

## 2. 市町別内訳

市町別登録者数の上位10市町は以下のとおりです。上位7市町で登録者全体の84.5%を占めています。前年と異なる点は、桑名市が松阪市を抜いて5位に転じた点です。増加率を市町別に見ると亀山市での増加率が最も大きくなっています。

順位	市町村名	登録者数	構成比	増減数	増減率
1	鈴鹿市	10,074人	19.5%	554人	5.8%
2	四日市市	9,685人	18.8%	483人	5.2%
3	津市	9,114人	17.6%	579人	6.8%
4	伊賀市	4,868人	9.4%	-54人	-1.1%
5	桑名市	3,772人	7.3%	168人	4.7%
6	松阪市	3,722人	7.2%	18人	0.5%
7	亀山市	2,414人	4.7%	281人	13.2%
8	伊勢市	1,392人	2.7%	-31人	-2.2%
9	いなべ市	1,297人	2.5%	127人	10.9%
10	菟野町	787人	1.5%	51人	6.9%

登録者数上位5市町における登録者数の多い国籍は、次のとおりです。( )内の数値は、同市町内登録者数全体に占める割合です。

市町村名	第1位	第2位	第3位
鈴鹿市 10,074人	ブラジル 5,118人 (50.8%)	ペルー 1,654人 (16.4%)	中国 945人 (9.4%)
四日市市 9,685人	ブラジル 4,034人 (41.7%)	韓国又は朝鮮 2,154人 (22.2%)	中国 1,330人 (13.7%)
津市 9,114人	ブラジル 3,859人 (42.3%)	中国 1,713人 (18.8%)	フィリピン 1,000人 (11.0%)
伊賀市 4,868人	ブラジル 2,605人 (53.5%)	中国 987人 (20.3%)	ペルー 422人 (8.7%)
桑名市 3,772人	ブラジル 1,261人 (33.4%)	韓国又は朝鮮 980人 (26.0%)	中国 509人 (13.5%)

### 3. 市町別外国人登録者数の割合

総人口に占める外国人登録者数の割合が多い上位 10 市町は、次のとおりです。三重県全体での外国人比率は、前年（2.58%）より 0.12%さらに増加しました。市町別では、1 位の木曾岬町が県内市町で初めて 5%を突破し（前年 1 位 4.90%）、2 位以下も前年同順位の「外国人の割合」数値と比べて全て増加しています。また上位の順位別では、鈴鹿市（前年 3 位 4.72%）、亀山市（前年 4 位 4.35%）が伊賀市（前年 2 位 4.78%）を超えてそれぞれ 2 位、3 位になりました。

順位	市町	外国人の割合	外国人登録者数	日本人の人口
1	木曾岬町	5.25%	369 人	6,660 人
2	鈴鹿市	4.95%	10,074 人	193,604 人
3	亀山市	4.83%	2,414 人	47,517 人
4	伊賀市	4.76%	4,868 人	97,398 人
5	津市	3.11%	9,114 人	284,132 人
6	四日市市	3.09%	9,685 人	304,020 人
7	いなべ市	2.77%	1,297 人	45,451 人
8	桑名市	2.66%	3,772 人	138,038 人
9	川越町	2.61%	350 人	13,047 人
10	東員町	2.57%	674 人	25,541 人
三重県計		2.70%	51,638 人	1,859,899 人

日本人の人口については、平成 19 年 12 月 31 日現在の住民基本台帳の人口です。

### 4. 外国人登録者数の推移

過去の外国人登録者数の推移は次のとおりです。指数は入管法の改正以前の平成元年を 100 として計算しています。国籍別の構成を平成元年との比較で見ると、平成 2 年の入管法の改正（ ）後、大きな変化が起こっているのがよく分かります。

#### （ ）【参考】入管法の改正

平成元年に成立、翌平成 2 年（1990 年）に施行された「出入国管理及び難民認定法」の改正で、日系 3 世までの外国人について活動に制限を設けない「定住者」という在留資格を新設するなど従来の在留資格を大幅に拡充する等の改正が行われた。

年	外国人登録者総数（人）	対前年増減率（%）	指数
平成元年	10,441 人	-	100
平成 5 年	18,688 人	3.9%	179
平成 6 年	19,313 人	3.3%	185
平成 7 年	20,566 人	6.5%	197
平成 8 年	23,926 人	16.3%	229
平成 9 年	26,856 人	12.2%	257
平成 10 年	28,203 人	5.0%	270
平成 11 年	29,199 人	3.5%	280
平成 12 年	32,457 人	11.2%	311
平成 13 年	35,524 人	9.4%	340
平成 14 年	36,988 人	4.1%	354
平成 15 年	39,838 人	7.7%	382
平成 16 年	43,621 人	9.5%	418
平成 17 年	47,551 人	9.0%	455
平成 18 年	49,304 人	3.7%	472
平成 19 年	51,638 人	4.7%	495

年	登録者総数	ブラジル	韓国又は朝鮮	中国	ペルー	フィリピン
平成元年	10,441	521	8,256	581	83	459
平成5年	18,688	6,320	8,151	1,257	888	748
平成6年	19,313	6,504	8,025	1,293	1,025	918
平成7年	20,566	7,616	7,899	1,357	1,171	839
平成8年	23,926	10,259	7,702	1,476	1,430	966
平成9年	26,856	12,516	7,625	1,641	1,565	1,059
平成10年	28,203	13,248	7,492	1,748	1,671	1,157
平成11年	29,199	13,611	7,352	2,042	1,788	1,322
平成12年	32,457	15,574	7,182	2,425	2,057	1,635
平成13年	35,524	16,882	7,086	2,884	2,440	1,967
平成14年	36,988	17,064	6,933	3,413	2,630	2,202
平成15年	39,838	17,984	6,681	4,167	2,855	2,726
平成16年	43,621	19,095	6,602	5,270	3,112	3,645
平成17年	47,551	20,659	6,411	6,562	3,432	4,249
平成18年	49,304	20,801	6,363	7,891	3,593	4,414
平成19年	51,638	21,338	6,205	9,019	3,787	4,764

外国人登録者数の推移

